

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 雄和福祉会

- ・ 特別養護老人ホーム花の家
- ・ 花の家短期入所生活介護事業所（短期入所介護予防事業）
- ・ ケアハウス花の家
- ・ デイサービスセンター緑水苑（第一号通所事業）
- ・ 花の家訪問介護事業所（第一号訪問事業）
- ・ 花の家居宅介護支援事業所
- ・ 雄和地域包括支援センター緑水苑
- ・ 認知症地域支援・ケア向上
- ・ 食の自立支援事業（配食サービス）
- ・ 郊外型はつらつくらぶ事業
- ・ 高齢者生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

【法人総括】

法人各事業所が新型コロナウイルス感染予防対策を講じていたが、9月に特養でクラスター発生。収束まで約5週間を費やし、合計32名（特養利用者21名、ショート利用者3名、職員8名）の陽性者となった。初めて経験するクラスターに戸惑いながらも、嘱託医及び秋田市保健所と相談しながら対応。クラスター収束後には新たな利用者の罹患はなかったが家庭内感染等による職員の罹患及び濃厚接触者はその後もいたため出勤停止として対応。感染対策費については秋田県からクラスター発生しても事業継続した施設に対して、介護サービス継続支援事業補助金の支援があり活用した。

感染対策費に加えて、光熱水費や物価高騰も法人経営に大きく影響。少しでも安い電力会社への変更や県補助金を活用し施設内照明のLED化に取り組んだ。その他にも秋田市から物価高騰に対して支援金もあったがそれを上回る物価高騰である。

コロナ以外では特養、デイ稼働率の変動が激しく収支に大きく影響した。法人としては厳しい年度であった。そんな厳しい状況ではあるが、賃金を含めた職員の処遇改善にも取り組んだ。

【重点事項】

（1）経営基盤の安定

法人経営の中核である特養及びデイサービス収支が厳しい中での燃料費等の高騰や物価高騰が法人経営に大きく響いた。

（2）感染症及び災害対策と安定したサービス提供

感染症対策を講じていたが、特養での新型コロナウイルスクラスター発生や、家庭内感染による職員罹患により出勤停止等あった。それでも制限付きではあるが事業を継続することが出来た。

（3）人材確保・定着及び育成

秋田市内においても介護人材の確保が難しく、ハローワークはもちろん、人材紹介会社も活用しているが充足出来なかった。職員の処遇改善として介護職員処遇改善加算の他に介護職員等特定処遇改善加算、ベースアップ等支援加算を取得。加算該当事業所職員には加算での処遇改善、該当しない事業所職員には法人独自の改善を実施した。

（4）中長期計画への取り組み

居宅介護支援事業所建替えに向けて調査を実施。また部品供給問題により特浴槽更新を1年延期したことにより、2023年度公益財団法人JKA競輪補助事業補助金事業の申請をした。また経費削減として県の補助金を活用し、施設内照明のLED化に取り組んだ。

法人運営（理事会・評議員会等）

1 理事会（計4回）

第1回 令和4年6月3日

- 議案・令和3年度事業報告の承認の件
・令和3年度決算報告の承認の件
・定款の一部変更の件
・評議員選任・解任委員会の補充選任の件
・令和4年度定時評議員会の開催に関する件

第2回 令和4年9月22日（決議の省略）

- 議案・育児・介護休業等に関する規程の一部改正の件
・給与規程の一部改正の件

第3回 令和5年2月24日

- 議案・給与規程の一部改正の件
・花の家居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所事務所建替えの件

第4回 令和5年3月16日

- 議案・令和4年度第一次資金収支補正予算（案）の件
・花の家居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所事務所建替えに伴う資金借入の件
・令和5年度事業計画（案）の件
・令和5年度資金収支予算（案）の件
・特養花の家特殊浴槽更新の件
・花の家居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所事務所建替え工事の件
・令和4年度臨時評議員会の開催に関する件

2 評議員会（計2回）

定時評議員会 令和4年6月22日

- 議案・令和3年度決算報告の承認の件
・定款の一部変更の件

臨時評議員会 令和5年3月24日

- 議案・令和4年度第一次資金収支補正予算（案）の承認の件
・花の家居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所事務所建替えに伴う資金借入の件
・令和5年度事業計画（案）の承認の件
・令和5年度資金収支予算（案）の承認の件

3 監査会（計2回）

日時 令和4年5月24日

- 事項・令和3年度事業報告について

- ・令和3年度計算関係書類及び財産目録について

日時 令和4年10月25日

- 事項・令和4年度上半期事業報告について
- ・平成4年度上半期計算関係書類について

4 役員研修

(1) 令和4年度秋田県経営協セミナー（前期）

期 日 令和4年7月29日

場 所 秋田県社会福祉会館

参加者 丸山業務執行理事

(2) 秋田市関係各課・室との懇談会

期 日 令和5年2月6日

場 所 アキタパークホテル

参加者 佐々木理事（施設長）

(3) 令和4年度秋田県経営協セミナー（後期）

期 日 令和5年2月6日

場 所 秋田県社会福祉会館

参加者 丸山業務執行理事

5 運営会議（毎月1回開催）

6 法人の委員会

(1) サービス向上委員会（計2回）

- ・令和4年5月27日
令和3年度後期の苦情に関する状況報告と意見交換
- ・令和4年11月11日
令和4年度前期の苦情に関する状況報告と意見交換

(2) 衛生委員会（計12回）

産業医を交えて安全管理や法人職員の健康管理等について委員会を毎月開催。年1回の職場研修会も開催。

(3) 広報委員会

広報発行

- ・令和4年8月4日 「花の家だより」36号発行 2,100部
- ・令和5年2月2日 「花の家だより」37号発行 2,100部
(雄和地域全戸配布、関係機関や福祉施設等に送付)

7 職 員 (R5年3月31日)

職 種	特養	短期 入所	ケア ハウス	通所 介護	訪問 介護	居宅介 護支援	包 括 支 援 セ ン タ ー	合計
管 理 者	1		(1)	1	1	1	1	5 (1)
事 務 員	3		(1)	0	0	0	(1)	3 (2)
相 談 員	1		1	1 (1)	0	0	1	4 (1)
介 護 職 員	24		1	6 (1)	2 (1)	0	0	33 (2)
看 護 職 員	6		0	2	0	0	0	8
機 能 訓 練 指 導 員	(5)		0	(2)	0	0	0	(7)
管 理 士 栄 養 士	1		(1)	0	0	0	0	1 (1)
主 任 介 護 支 援 専 門 員	1		0	0	0	4 (1)	(1)	5 (2)
介 護 支 援 専 門 員	0		0	0	0	0	0	0
保 健 師	0		0	0	0	0	1	1
社 会 福 祉 士	0		0	0	0	0	1	1
技 能 員 等	4		1	3	0	0	3 (1)	11 (1)
宿 直 員	3		0	0	0	0	0	3
登 録 ヘルパー	0		0	0	2	0	0	2
嘱 託 医	1		0	0	0	0	0	1
合 計	44		3	13	5	5	7	78
※参考 R4年3月	46		3	15	5	5	6	80

・ () 兼務職員

・ 令和5年3月末

介護職の介護福祉士取得率 (特養96%、通所66%、ヘルパー60%)

法人職員の介護支援専門員資格保持者

(特養6名、デイ2名、ヘルパー1名、居宅5名、包括3名、)

特別養護老人ホーム花の家（短期入所生活介護事業所含む）

【総括】

稼働率 95.4%と目標数値の 98%には届かなかった。令和 4 年度の入退所者数は入所 21 名、退所 19 名と多かった。空床期間短縮を念頭に入退所調整した。退所による空床枠を短期入所利用の希望があり、そちらを優先したため新規入所が遅れたが、空床期間を短期入所利用で穴埋め出来た。入院者数は年度通して多く、延べ 27 名だった。入院の理由として誤嚥性肺炎、心疾患や元々の基礎疾患の悪化によるものである。退所者 19 名のうち、施設での看取りの方が 11 名、医療機関で亡くなった方が 8 名と年々看取りの方が増えている。

新型コロナウイルス関連では 9 月 3 日利用者 2 名新型コロナ抗原検査にて陽性判明。9 月 4 日に利用者及び職員併せて 5 名以上の陽性者を確認し、施設クラスターとなった。保健所の指示の下、ゾーニング実施。早期終息に向けて取り組み、10 月 9 日クラスター終息となった。感染者は利用者 24 名（特養 21 名 ショート 3 名）職員 8 名の計 32 名となった。

面会はオンラインが中心となったが、感染状況が落ち着いている期間は予約制にし、出来るだけ直接の面会を行った。

短期入所事業は 1 日平均 7.4 人（稼働率 104.6%）で目標数値 1 日平均 6.0 人を達成することが出来た。長期利用者の受け入れと特養の退所や入院による空床を利用し、稼働率を維持することが出来た。今後より稼働率の安定に努めていきたい。

【重点事項】

（1）ご利用者に寄り添ったサービスの提供と科学的介護情報システムの活用

ご利用者やご家族のご意向を確認し、サービス担当者会議を定期的に年 2 回開催した。その他にも介護保険の更新や退院時、状態悪化時にも随時開催した。アセスメント、モニタリングを行い、ケアプラン作成や各部門との連携、協同によりご利用者に寄り添った支援へ繋げる事が出来た。新規入所の際にはご利用者やご家族に丁寧な説明を行い、不安の無いように新規入所に繋げることが出来た。

終末期における支援として、ご利用者及びご家族の要望に沿えるように出来る限り対応した。今までの生活を変えることなく、他のご利用者がいる中で見守りを行い、穏やかな最期を迎えられるように支援することが出来た。ご家族への支援としてコロナ禍ということもあったが面会時間外でもいつでも面会に応じる事や宿泊準備を整えていることをお伝えし、安心して頂けるように努めた。最期に立ち会われたご家族からは暖かい言葉を頂戴した。ご利用者だけでなくご家族に対しても身体的、精神的負担の軽減に努める事が出来た。

日々の業務の中でご利用者の体調が普段と違いはないか観察に努めた。状態にあった判断を行い他職種と連携した対応が出来た。

科学的介護情報システム（L I F E）については、毎月情報を提出することにより栄養マネジメント強化加算及び科学的介護推進体制加算を取得することが出来た。また、フィードバックをサービス担当者会議や月例報告会で活用し、よりよい支援につなげることが出来た。

(2) 事故防止と感染症対策に努める

委員会でヒヤリハット・事故報告を基に事故を検証、再発防止に努めた。特養で骨折事故が4件発生。自らの立ち上がり、歩行時による転倒やベットからの滑落であった。職員には一つひとつの動作を確認し支援にあたるように注意喚起をした。その後は行政機関や加入している保険会社に速やかに報告。また、医療機関とも連絡調整を行った。

新型コロナウイルスの施設クラスターが発生し、罹患者は利用者、職員計32名となった。今回の経験で見えてきた反省等を踏まえ、マニュアルの見直し、内部研修や申し送り等で職員に意識付けや対応力の強化に努めていきたい。

(3) 専門職としての責務と人材育成

新型コロナウイルスの影響で一部の研修はオンラインで実施しているためタブレットやWi-Fi等環境を整え、積極的に研修を促している。今年度も新型コロナウイルスの影響もあり研修が少なかったが、施設内で毎月の職員会議での研修や接遇マナーの研修会を開催した。職員としての資質の向上に取り組むことが出来た。

日常の業務記録、ヒヤリハット、事故報告書、会議録、復命報告書において、書く力を身に付けるよう機会を設けた。記録提出期日、一覧表を設ける事で職員への意識付けをしたが、期日まで提出のない職員もいた。

医療的ケア（痰の吸引と経管栄養）では、安全に実施するために委員会での確認を行った。実地研修は、研修がスムーズに行えている。未修了者3名おり、来年度は未修了者の修了を目指したい。

今後も看取り介護を希望される方が増えていく中で、ご利用者の状態観察や引き継ぎが重要な部分を占めていく為、職員間での指導や情報交換を密に行っていきたい。

職員自ら専門性の向上を目指し、ご利用者及びご家族からも信頼される職員となるように努めていきたい。

(4) 非常事態発生時の危機管理に努める

防災訓練は年間計画通りに実施。夜間想定避難訓練は消防署員の立会いの下、緊張感を持って取り組むことが出来た。土砂災害想定避難訓練では体調不良者を除く全利用者を1次避難場所である交流スペースへの避難誘導を行った。実際に誘導してみて待機スペースの状況などを確認することができ、次のステップに繋がる訓練となった。また、近隣自治会からも参加してもらうことができ、協力体制を築くことが出来た。

(5) 稼働率の安定を図る

今年度は退所者数19名、入院者数延べ27名と前年度とやや近い人数となった。新規入所までの期間短縮を意識しながら受入れを進め、平均空所日数(12.7日)は昨年より短縮できたが、年間稼働率95.4%と目標数値(98%)を下回った。だが、空床を短期入所で利用することで空床期間を減らすことが出来た。

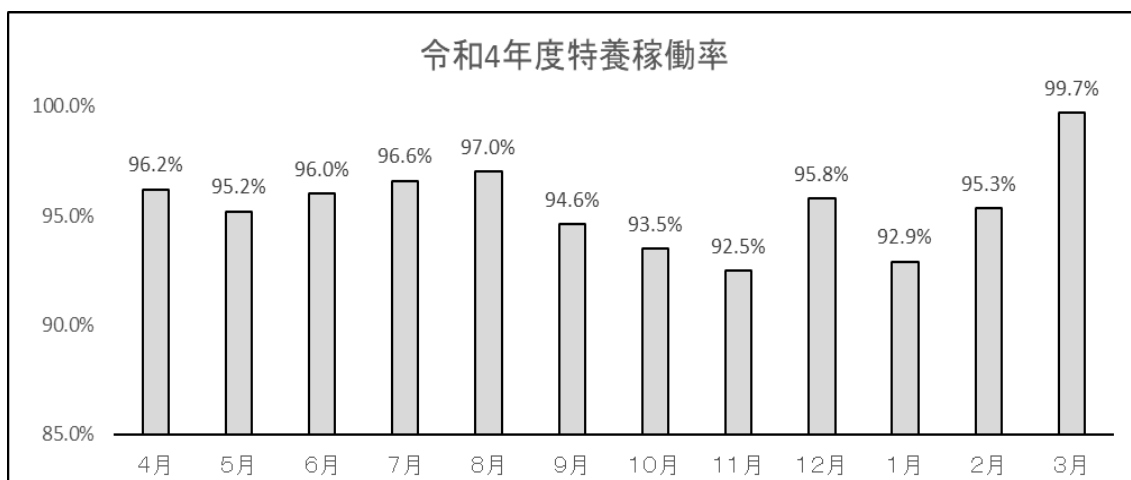
ショートステイは1日平均7.4人(稼働率104.6%)、新規にご利用者13名との契約締結が出来た。長期利用と特養の空床利用により利用日数が増え目標

数値 6.0 人を達成することが出来た。

今後ご利用者一人ひとりの観察の充実を図り職員間の連携を密にしたサービス支援に努め、稼働率の安定を図りたい。

(1) 特養入所利用状況及び入退所状況(入所定員 58名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人数(人)	55.8	55.2	55.7	56.0	56.2	54.8	54.2	53.6	55.6	53.9	55.2	57.8	55.3	55.3
稼働率(%)	96.2%	95.2%	96.0%	96.6%	97.0%	94.6%	93.5%	92.5%	95.8%	92.9%	95.3%	99.7%	95.4%	95.4%
延在床数(人)	1,675	17,133	1,672	1,737	1,744	1,646	1,682	1,610	1,724	1,672	1,548	1,793	35,636	1453.7
入院者数(人)	1	4	4	3	2	6	5	6	4	7	4	0	46	
退所者数(人)	3	2	2	2	2	0	2	2	1	1	1	1	19	
入所者数(人)	3	4	2	2	2	0	1	3	1	0	1	2	21	



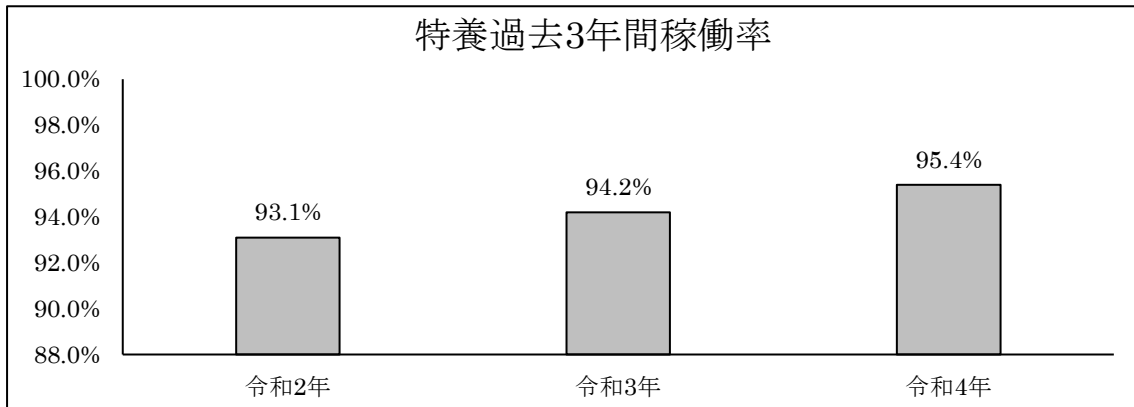
(2) 空床状況

	R2 年度	R3 年度	R4 年度
入院	1,133 日	722 日	682 日
外泊	0 日	0 日	0 日
退所による空床	126 日	293 日	266 日
合計	1,250 日	1,015 日	948 日
新規入所までの日数	8.4 日	14.7 日	12.7 日

(3) 特養過去3年間稼働率

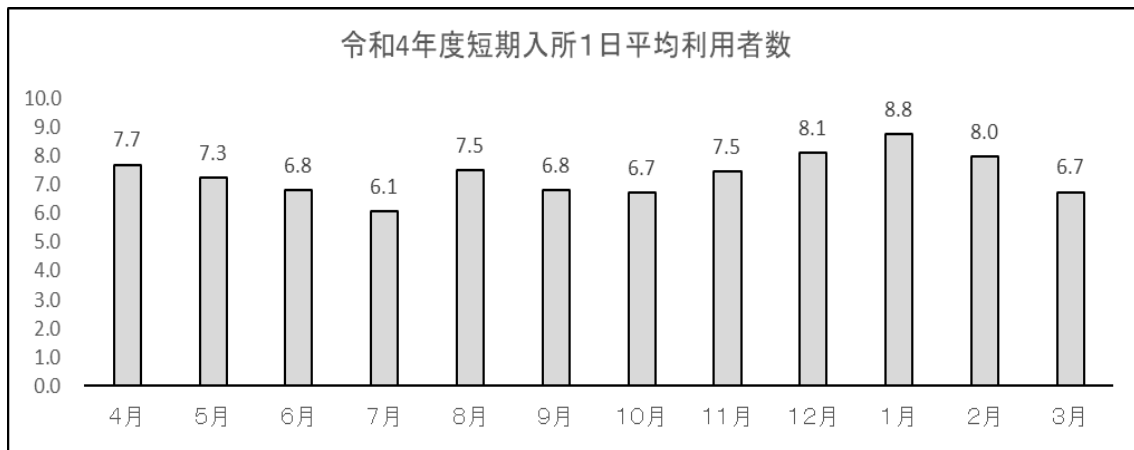
*R4年3月1日から定員変更(50名から58名へ)

	R2年度	R3年度	R4年度
人数	46.6	47.7	55.3
稼働率	93.1%	94.2%	95.4%
退所	15	20	19
入所	15	26	21



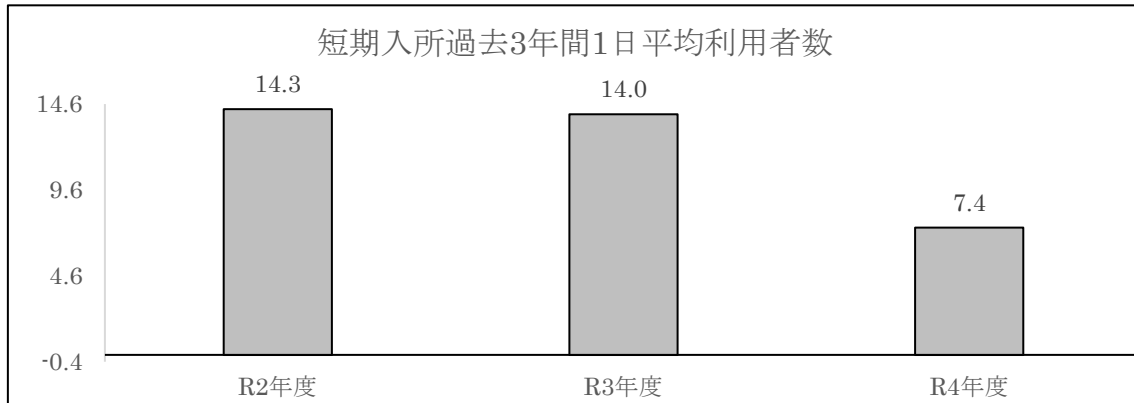
(4) 短期入所利用状況(定員7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ人数(人)	231	225	204	188	233	204	208	224	251	272	223	209	2,672	222.7
1日平均(人)	7.7	7.3	6.8	6.1	7.5	6.8	6.7	7.5	8.1	8.8	8.0	6.7	/	7.4
稼働率(%)	110.0%	103.7%	97.1%	86.6%	107.4%	97.1%	95.9%	106.7%	115.7%	125.3%	113.8%	96.3%	/	104.6%
新規契約(人)	0	4	2	3	2	2	2	0	0	5	2	1	23	



(5) 短期入所過去3年間1日平均利用者数及び稼働率
 *R4年3月1日から定員変更(15名から7名へ)

	R2年度	R3年度	R4年度
1日平均利用者数	14.3	14.0	7.4
稼働率	94.8%	95.0%	104.6%



(6) 特養入所契約者年齢別人員(R5.3.31現在)

年齢区分 在籍数		年齢区分					平均年齢
		65~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳~	
男	10人	0	2	6	2	0	84.7歳
女	48人	1	4	19	21	3	89.6歳
合計	58人	1	6	25	23	3	88.8歳

最高年齢 女性 111歳10ヶ月 男性 93歳4ヶ月

最低年齢 女性 69歳4ヶ月 男性 75歳1ヶ月

(7) 要介護度別人員(R5.3.31現在)

要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	平均要介護度
0	0	0	0	12	29	17					58		
男0	女0	男0	女0	男0	女12	男6	女23	男4	女13				
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	51.8%	30.4%							

(8) 地域別入所状況

入所前住所	雄和地区	河辺地区	旧秋田市	その他	合計
R5年3月31日現在数(人)	52	0	5	1	58

(9)入退所状況

退所事由 (人)	転院	病院で死亡	施設で死亡	在籍期間	1年未満	1～5年未満	5年以上
	0	8	11		8	7	4
入所前の 状況(人)	在宅(ショート)	老健・グループホーム	病院	入所時 要介護度	要介護3	要介護4	要介護5
	18(14)	3	0		10	5	6

(10) 入所待機者状況 (R5.3.31現在)

男性	37名	女性	92名	合計	129名
----	-----	----	-----	----	------

(11)委員会実施状況

委員会名	開催数
研修委員会	3回
行事企画委員会	7回
給食委員会	6回
感染症対策委員会	9回
排泄・褥瘡防止委員会	4回
防災対策委員会	5回
サービス改善委員会	3回
事故防止検討委員会 (発生事故検証会)	5回 (6回)
入所調整委員会	2回
医療的ケア対策推進委員会	5回
身体拘束適正化委員会	5回
虐待防止検討委員会	5回
広報委員会	3回

(12)内部研修会(職員会議時)

開催月	研修内容
4月	法令遵守と事業方針について
6月	防災・緊急時体制
7月	食中毒について
8月	身体的拘束等適正化・虐待防止について
10月	感染症について
11月	看取り介護について
12月	事故防止について
1月	身体的拘束等適正化・虐待防止について
2月	認知症について
3月(施設内 研修)	事故防止について、自己評価表について

(13) 会議・行事・ボランティア等の状況

	職員 会議	月例 報告	会議（介護職）	行事・ボランティア等	行事食
4 月	20 日	19 日	各ブロック会議 チーフ会議	夜勤職員検診（22日）	開園記念祝い膳 （1日）
5 月	25 日	19 日		聖霊高校窓ふきボランティア （27日）	母の日祝い膳 （8日）
6 月	22 日	16 日		民協草刈りボランティア（14 日）	父の日祝い膳 （19日）
7 月	27 日	14 日		七夕喫茶（6日） 入所者一般検診（20日） 入所者結核検診（26日） 夜間想定避難訓練（13日）	七夕祝い膳 （7日）
8 月	24 日	18 日		チビッコボランティア（2日）	精進膳 （13日）
9 月	22 日	15 日			
10 月	26 日	20 日			収穫の祝い膳 （13日）
11 月	22 日	17 日	各ブロック会議	総合避難訓練（16日） 花の家秋祭り（16日） 職員健康診断（28日）	敬老祝い膳（16日） 防災訓練食（17日）
12 月	21 日	20 日	チーフ会議		クリスマスラン チ（24日）
1 月	25 日	17 日		新春の集い（11日）	正月祝い膳 （1日）
2 月	22 日	16 日	ブロック会議 チーフ会議		節分祝い膳 （3日）
3 月	25 日	17 日			ひな祭り祝い膳 （3日）

ケアハウス花の家

【総括】

令和4年度は入居4名、退居5名だった。主な退居理由は認知症状の悪化を含むADLの低下、転倒その他体調不良による入院等、ケアハウスでの自立した生活が困難になったことが多くを占めている。新規入居者についても入居要件は概ね満たしているが安心した日常生活を過ごすため入居時から介護保険サービスを利用しての生活開始となる方が多い状況。本来ケアハウスとは自立した生活を求められる施設ではあるが、近年の在宅介護状況の変化もあってか要介護状態の方や家族の協力が難しい方からの入居申込みが多くなっており入居前のカンファレンス等が重要となっている。

令和4年度は新型コロナウイルスに入居者1名が感染し本人及び他の入居者の生活にも大きな影響を及ぼした。療養期間中は罹患者以外にも食事を含め居室対応をお願いするなど最大限の対策を実施し新たな感染者はなかった。

各行事については内容を変更して実施し、外出、面会等は一部制限によりご家族様にも多大なる心配とご迷惑をかけることとなった。そのような状況下の中でも共有スペースを活用し余暇活動の内容を工夫し入居者同士の交流に繋げることができた。

秋田市指導監査があり文書指摘はなかったが、口頭による助言、指導事項はあったので確認しながら適切な運営管理に努めていく。

今後も入居者の1日をより一層大切に、楽しく充実した生活へ繋げる支援を継続していきたい。

【重点事項】

(1) 日常生活の充実について

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防対策を実施。感染予防に努めていたが、入居者1名が陽性となり居室での隔離対応を実施。幸いにも他の入居者に陽性者はいなかった。療養終了後は感染予防対策を強化し面会時を含め施設内でのマスク着用をお願いした。コロナ禍ではあったが、多くの入居者からは外出等を希望する声があり可能な限りの感染予防策を実施しながら、花見ドライブと紅葉ドライブを実施し喜んでもらった。その他、園芸療法活動として、ケアハウス菜園を活用して枝豆とスイカ栽培を試みた。高齢化とADLの低下により畑作業ができる方は年を追うごとに減少傾向にあるが、施設内での日常とは違い屋外では生き生きした姿が印象的だった。収穫後は女性入居者を中心に調理し収穫の喜びを味わい入居者相互の親睦を深めることができた。今後も生きがいに繋がる活動を大切にしていきたい。

施設内での余暇活動については、毎日の健康体操やレクリエーション、しりとり、折り紙、ぬり絵、パズル等の活動を行い日常生活の質の向上に繋げることができた。

(2) 生活環境の整備について

施設内の清掃、整理整頓、温度湿度管理の実施に加え、加湿器付き空気清浄機を活用し入居者が快適で安心できる環境作りに努めた。また、個々の居室内

の冷蔵庫の管理等の声掛けや冷暖房の適切な使用、定期的な換気等の声掛け支援を継続的に実施した。廊下の壁には四季の装飾や外出や余暇活動時の写真を掲示し季節感を感じ取ってもらえる工夫をした。

(3) 健康観察の充実について

入居者の平均年齢は86.3歳(3/1現在)と高齢でもあり、日常の健康管理が重要とされる。今年度も夜間や早朝等、職員不在時に体調不良になった方が多く、施設車による救急外来受診等の対応をした。また多くの入居者(13名中12名)が訪問介護サービスや通所サービス、特殊寝台レンタル等の介護保険サービスを利用しており、介護支援専門員及び介護保険事業所との情報交換を密にし、健康状態の把握等、入居者の体調管理に繋げることができた。健康管理サービスとして週3回のバイタル測定と月に1度の体重測定を実施し健康状態把握に努めた。また入居者の受診日等を把握し、緊急時や家族対応が難しい入居者については通院介助を実施し入居者、家族の安心に繋げることができた。

体調不良やADLの低下により自立したケアハウス生活が困難になった時は、ご家族、介護支援専門員等と相談し本人が安心して過ごすことができる介護保険施設等への変更、調整等を進めてきた。

新型コロナウイルスの感染予防対策として岩崎医院の協力を得てワクチン接種を実施した。インフルエンザの予防接種も実施し手洗いうがい、マスク等の基本的感染予防策を励行し健康管理に努めた。

1 年間行事活動報告

日付	行事名等	内容・場所	参加者
4月 11日(月)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
18日(月)	外出レク(花見)	新屋~牛島~樺台方面ドライブ	5名
19日(火)	〃	〃	4名
25日(月)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
5月 2日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
12日(木)	園芸療法	枝豆播種(湯あがり娘)	2名
24日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
25日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名
30日(月)	園芸療法	ケアハウス菜園(畝作り、定植)	4名
31日(火)	テイクアウトランチ	御所野スーパーセンターアマノ	10名
6月 9日(木)	園芸療法	ミズ採取、ミズたたき調理	7名
15日(水)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	5名
29日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	13名
〃	テイクアウトランチ	ディアポーク御野場	6名
7月 1日(金)	園芸療法	枝豆栽培管理(除草、土寄せ)	2名
5日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
20日(水)	健康診断	県保健事業団健診	13名

	25日(月)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	26日(火)	結核検診	県保健事業団健診	13名
	27日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名
8月	10日(水)	園芸療法	ケアハウス菜園(枝豆収穫、調理)	8名
	16日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	30日(火)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名
9月	6日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	5名
	16日(金)	コロナワクチン接種	岩崎医院	1名
	20日(火)	ケアハウス敬老会	ケアハウス食堂(卒寿2名)	12名
	27日(火)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
	30日(金)	コロナワクチン接種	岩崎医院	1名
10月	6日(木)	新米試食会	ケアハウス食堂(おにぎり作り)	4名
	18日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	18日(火)	コロナワクチン接種	岩崎医院	5名
	19日(水)	〃	〃	5名
	20日(木)	園芸療法	干し柿作り	8名
10月	28日(金)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名
	31日(月)	外出レク	雄和国際ダリア園	4名
11月	1日(月)	インフルエンザワクチン接種	岩崎医院	12名
	8日(火)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	9日(水)	外出レク	秋田市内(河辺、岩見三内方面)	5名
	10日(木)	干し柿試食会	ケアハウス食堂	11名
	29日(火)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
	〃	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	5名
12月	21日(水)	ケアハウス忘年会	折詰め弁当、ダダミ鍋、大抽選会	10名
	22日(木)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	28日(水)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	10名
1月	12日(木)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	31日(火)	〃	〃	3名
	〃	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認)	10名
2月	22日(水)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	4名
	28日(火)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認)	12名
3月	15日(水)	買い物+代行	御所野スーパーセンターアマノ	3名
	31日(金)	打ち合わせ会	ケアハウス食堂(次月予定確認等)	11名

2 全体行事、その他

月 日		行事名	内容・場所
7月	7日(水)	七夕喫茶(全体行事)	交流スペースで装飾、喫茶を楽しむ
7月	14日(水)	避難訓練(夜間想定)	夜間の火災を想定した訓練に参加
9月	15日(水)	敬老式(全体行事)	花の家ホールで節目のお祝いをする(ケアハウスは1名)
10月	13日(水)	総合避難訓練 (土砂災害想定)	土砂災害を想定した避難訓練に参加
11月	10日(水)	秋祭り (全体行事)	花の家交流スペースで喫茶を楽しむ
1月	12日(水)	新春の集い (全体行事)	各ブロックへナマハゲと神主、巫女に扮した職員が訪問し雰囲気を楽しむ

- ・その他の活動～健康体操(音楽に合わせて10:00～10:30)
茶話会(しりとり、バランスゲーム等10:30～11:30)
余暇活動(トランプ、パズル、オセロ等15:30～16:30)

3 入退居及び入居者状況

(1) 入退居状況(入居4名、退居5名)

入居	10/1 (女性1名)	1/1 (男性1名)	3/1 (女性2名)		
退居	9/16 (男性1名)	12/18 (女性1名)	1/16 (男性1名)	2/15 (女性1名)	2/25 (男性1名)

(2) 年齢別・性別の状況(R5.3.31現在)

区分	男性	女性	計	割合
60～69歳	0名	0名	0名	0.00%
70～79歳	1名	1名	2名	16.7%
80～89歳	0名	3名	3名	25.0%
90歳以上	1名	6名	7名	58.3%
計	2名	10名	12名	100.0%
平均年齢	84.5歳	88.0歳	86.3歳	

4 過去3年間状況

(1) 在籍数 (各年度末日現在)

	男性	女性	計
R2年度	6	7	13
R3年度	4	9	13
R4年度	2	10	12

(2) 介護認定状況 (各年度末日現在)

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
R2年度	0	0	4	3	5	0	0	0
R3年度	1	0	4	4	4	1	0	0
R4年度	0	0	4	6	2	0	0	0

(4) 年齢別・性別状況 (各年度末日現在)

		60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計	平均年齢
R2年度	女	0	0	4	3	7	87.4歳
	男	0	1	4	1	6	
R3年度	女	0	2	3	4	9	87.9歳
	男	0	0	3	1	4	
R4年度	女	0	1	3	6	10	86.3歳
	男	0	1	0	1	2	

(5) 事故・ヒヤリハット件数

	R2年度	R3年度	R4年度
事故・ヒヤリハット	0	2	2
苦情	0	0	0

5 秋田市指導監査 令和4年7月20日(水) 指摘事項なし

デイサービスセンター緑水苑（第一号通所介護）

【総括】

昨年度は1日平均利用者数19.9名と目標値の24名を上回ることが出来なかった。利用中止となった経緯として、複数回ご利用頂いていた方が骨折、疾病、入所、死亡等により登録利用者数の減少に繋がった。新規契約者は16名と締結出来たが、ここ3年の中で契約者は少なかった。その為、利用中止者の穴を埋めることが出来なかった。体験利用を希望された方は2名のみであったが、その方とは契約締結することが出来た。ご家族等から入浴の要望があり、その希望に沿った対応が評価を得て利用契約に繋がった。

ご利用者確保に向け各事業所への渉外活動、デイサービスの空き情報を提供した。しかしながら、近年は、短期入所施設や老人保健施設入所など更なる施設傾向が高まり在宅介護の厳しい現状が垣間見える。そのため上記活動の成果を継続して維持していくことは容易ではなく、ご利用者確保の難しさを毎年痛感している。

昨年度に続き、新型コロナウイルスにより利用を休まれる方がいた。ワクチン接種による休養や陽性者や濃厚接触者がいることや他県への往来、親族の帰省等はデイサービスでは把握が難しく、感染防止対策としてご家族へ文書を配布しご理解とご協力を求めた。

今年度は新型コロナウイルスに罹患した方がいたが大事には至らなかった。現在はインフルエンザが流行しているが、罹患した利用者の報告はなかった。新型コロナウイルス5類引き下げ時には、世情を把握し対応していきたい。今後も気を緩めず感染対策を徹底していきたい。デイサービスでは利用前にご家庭での検温、マスクの着用、送迎時に手指のアルコール消毒、車内の換気、送迎後には車内の消毒を継続した。今後も苑内では来苑時に手指消毒、検温、定期的な換気、加湿管理を継続していく。

コロナ禍で行事やボランティアの受け入れに制限があったが、苑内で行える活動、行事を充実させご利用者の笑顔を多く引き出す事が出来た。

【重点事項】

（1）運営基盤の強化

渉外活動を通して他法人の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター地域自治会等にデイサービスの空き情報や体験利用の依頼等を行った。また、在宅サービス担当者会議においては、複数回利用の提案や新規利用者の紹介を依頼をした。しかし、今年度は新規契約締結が16名と前年度を上回ることが出来なかった。体験利用の受け入れは2件のみと希望者が少なく、利用集客に繋がらなかった。

ご利用者、ご家族の要望や事情等を踏まえ、代替日を設けるなどして定期外のサービス利用に繋げるなどの対応をしてきた。だが、ご利用頂いている方が自宅での転倒、疾病、コロナ関連（感染、濃厚接触、ワクチン接種）入所、ショートステイ、死亡等が相次ぎ登録利用者数が激減し1日平均24人以上の目標値達成が困難となった。

苑内での感染防止対策を徹底しながら、活動できる行事（ドライブ、縁日、

夏祭り、敬老会、演芸、クリスマス会、忘年会等)を行った。また春先には山菜を収穫し、ご利用者に下ごしらえや塩蔵づくりを手伝ってもらい、懐かしんでもらった。

(2) ご利用者一人ひとりのニーズに対応したサービス提供

ご家族、ご利用者の要望に応じて早めの受け入れや短時間での送迎、ご希望の時間に合わせた送迎を行った。

日々の身体状況を確認しながら職員間で情報共有し、安全に過ごしてもらえるように支援した。

(3) 在宅での日常生活機能向上に向けた個別機能訓練の実施

ご利用者個々に実施するアセスメントを基に、心身の状態に応じた個別機能訓練計画書を作成した。また、訓練内容の見直し、手指、上肢、下肢に効果的な訓練を取り入れた。そして、その訓練内容をご自宅でも継続して取り組んでもらえるように配布した。

(4) 職員のスキルアップ

職員会議を通して職員には「利用者はおお客様であること」「利用者に対する寄り添う姿勢」「相手を尊重した接遇」等を説明し意識付けをした。

新型コロナウイルスの感染状況を見て、苑内でオンライン研修に参加した。研修後には伝達研修を行い、職員間の情報の共有を図った。

委員会主導で、事例を通して介護事故のリスクを把握し、事故を未然に防ぐため、リスクマネジメント勉強会を行った。

(5) 非常災害対策の備え

昨年の反省を活かし内容の見直しを行い、年2回の避難訓練を実施した。夏の訓練時には石田、水沢、平沢地区の自治会長に総合避難訓練の内容を見て頂き、訓練内容の助言を頂いた。そして、緑水苑の実情や課題等の情報の共有を図ることが出来た。

今年は苑内の避難誘導後に、初めて二次避難場所への移動訓練を実施した。二次避難場所での課題等様々上げられた。今後の訓練で確認していきたく。

緊急時の対応として、急変時や交通事故時に早期対応に繋がるように「車輛トラブル時のマニュアル」を作成、各車輛に設置した。

(6) 感染症予防

新型コロナウイルス感染拡大防止として、ご家族に文書を配布し、感染防止に向けたご理解とご協力を求めた。ご利用者にはご家庭での検温、マスクの着用を促し体調管理に努めてもらった。送迎時には手指のアルコール消毒、車内の換気、送迎後には車内の消毒を行った。来苑時にも手指消毒の実施、検温、定期的な換気、加湿管理、物品消毒にも努めた。苑内でも常時マスクの着用を促した。しかし、苑内でコロナ罹患者1名おり、他利用者(1名)に感染した。その後は他者に感染はしていなかった。

インフルエンザが流行すると報道であったが、ご家族内で感染したとの報告

を受けたが、苑内では罹患者は居なかった。

○アクティビティ計画（心身活性化のための活動）の評価

屋外の活動は春、秋の外出、園外の散歩に留まった。苑内では季節行事（夏祭り、敬老会、クリスマス会、忘年会、節分、ひな祭り会）、日常生活の機能向上に繋がる多彩なプログラムを取り入れた。グループ活動を通して実践し、体調にも考慮した対応を行うなどして、ご利用者が楽しく過ごす事が出来た。

今年度もコロナ渦にて、ボランティア等の受け入れを自粛せざるを得なかった。

昨年度に続き、新波保育園児から「クリスマスプレゼントの寄贈」があった。園児の笑顔を見ては涙ぐみ喜ばれていた。

1. 令和4年度利用状況（定員30名 月～土曜日営業）

	要介護度別利用者数（延人数）							利用者数 (人)	1日 平均 (人)	営業 日数	稼働率 (%)
	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5				
4月	19	28	192	185	59	13	0	496	19.07	26	63.58
5月	23	22	224	186	68	12	0	535	20.57	26	68.58
6月	22	22	208	210	56	14	0	532	20.46	26	68.20
7月	15	19	232	199	72	15	0	552	21.23	26	70.76
8月	16	18	216	191	59	13	0	513	19.00	27	63.33
9月	11	22	204	192	66	14	0	509	19.57	26	65.25
10月	13	17	221	197	61	12	0	521	20.03	26	99.79
11月	15	18	216	221	71	11	0	552	21.23	26	63.69
12月	19	21	226	174	73	13	0	526	20.23	26	67.43
1月	13	20	172	167	61	8	0	441	18.37	24	61.25
2月	18	20	166	182	92	4	0	482	20.08	24	66.94
3月	22	22	168	198	92	5	0	507	18.77	27	62.59
合計	206	249	2445	2302	830	134	0	6166	19.75	310	65.24

2 新規契約件数

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	2	0	1	1	1	1	3	3	0	0	3	16

3 体験利用者

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

4 個別機能訓練加算Ⅰ（イ）（56単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
441	485	465	517	479	476	281	254	337	226	281	343	4,585

5 個別機能訓練加算Ⅰ（ロ）（85単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
						210	265	149	182	163	120	1,089

6 運動器機能向上加算（225単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10	10	9	9	8	7	7	7	7	7	8	8	97

7 入浴介助加算（Ⅰ）（40単位）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
435	467	461	506	469	466	480	511	474	402	435	451	5,557

8 送迎減算（-47単位）

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6	7	3	4	5	3	4	9	3	3	6	9	62

9 地区別実利用者数（令和5年3月末現在）

単位：人

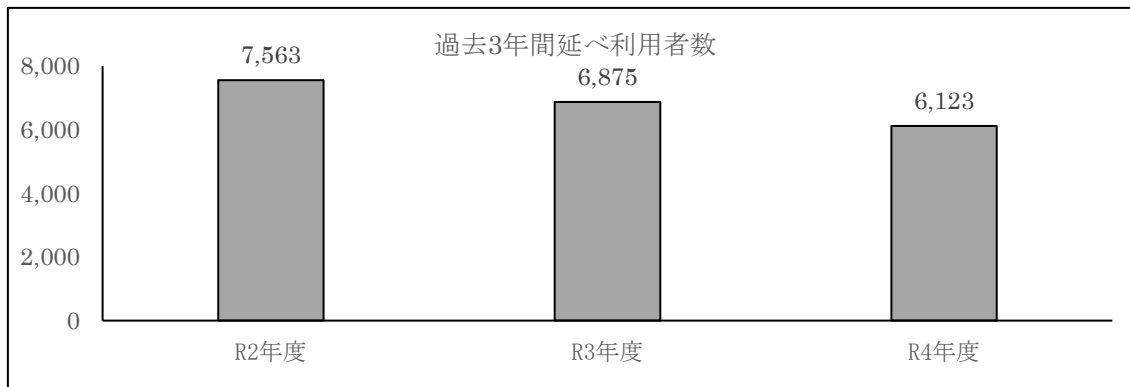
	川添地区	戸米川地区	種平地区	大正寺地区	他地区 (八田・畑谷)	合計
男性	7	5	2	2	1	17
女性	21	10	3	6	0	40
合計	28	15	5	8	1	57

○平均年齢 86.2歳 最高齢者 96歳 ☆最若齢者 62歳

○週間利用回数（3月） 1回利用（20名）・2回（17名）・3回以上（20名）

10 過去3年間延べ利用者数

	R2年度	R3年度	R4年度
延べ利用者数(人)	7,563	6,875	6,123



11 主な行事・アクティビティ活動等の内容

月	行事・アクティビティ活動	今月の歌	実習/ボランティア
4月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、回想法、ビンゴゲーム、ビデオ鑑賞、クイズ、外気浴等) 誕生会	せんせい 高原列車はいく	
	4/18-4/30 春の外出ドライブ		
5月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、回想法、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、まちがい探し、紙飛行機等) 誕生会	二輪草 上を向いて歩こう	
6月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム等) 誕生会	東京の灯をいつまでも 瀬戸の花嫁	
	6/16-6/17 さなぶり運動会		
7月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム等) 誕生会	憧れのハワイ航路 ドンパン節	
	7/24 総合避難訓練		
8月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、ビンゴゲーム等) 誕生会	夏は来ぬ 真っ赤な太陽	
9月	グループ活動(塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、講話、外気浴等) 誕生会	故郷 孫	
	9/19-9/20 敬老会		

10月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ等） 誕生会	港町十三番地 箱根八里の半次郎	
	10/10-10/22 秋の外出ドライブ		
11月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ等） 誕生会	二人は若い 東京花売り娘	
12月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、講話等）誕生会	いつでも夢を 千恵っ子よされ	保育園児交流（新波保育所）
	12/23-12/24 クリスマス会		
	12/28-12/29 忘年会		
1月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ、書初め等）誕生会	大黒米 祝い舟	
2月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ等） 誕生会	星影のワルツ 浪花節だよ人生は	
	2/2-2/3 節分		
3月	グループ活動（塗り絵、卓上ゲーム、軽運動、脳トレ、ビデオ鑑賞、クイズ等） 誕生会	中学三年生 揚げば尊し	
	3/1-3/2 ひな祭り		

○個別機能訓練

個々の自立した日常生活に繋がるような内容をグループ単位に実施
（転倒予防体操、口腔ケア体操、手指運動、歩行訓練、生活動作訓練等）

12 会議等

- (1) 職員会議（毎月1回実施）
- (2) サービス担当者会議
- (3) 利用者事前訪問

13 各種委員会

- (1) 研修委員会（計2回開催）
年間計画作成等

①施設内研修

- 4月27日(水) 法令遵守「倫理について」
高齢者虐待防止に関する指針について
- 6月21日(火) 食中毒予防対策について

- 7月22日(金) 事例検討会～入浴介助中の事故と起こさない為のポイントについて
- 9月21日(水) 法令遵守「個人情報の取り扱いについて」
「プライバシーの侵害・保護について」
- 10月25日(火) 認知症について
事例検討会～送迎中の急変時の対応について
- 11月25日(木) 感染症予防について表現について、感染症について

②施設外【伝達研修】

- 6月21日(火) 高齢者虐待・身体拘束防止研修について
- 6月21日(火) 怒りのマネジメント研修について

(2) 機能訓練活動検討委員会 (計3回開催)

年間行事や活動計画の策定と実施

- 4月18日～4月30日 春の外出ドライブ
- 6月16日～6月17日 さなぶり運動会
- 8月4日～8月5日 夏祭り
- 9月19日～9月20日 敬老会
- 10月10日～10月22日 秋の外出ドライブ
- 12月23日～12月24日 クリスマス会
- 12月28日～12月29日 忘年会
- 2月2日～2月3日 節分
- 3月3日～3月2日 ひな祭り会

(3) 保健衛生委員会 (計5回開催)

利用者、職員の健康管理と予防対策、食中毒及び感染症予防対策
(インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス、消毒、換気等)

【施設内研修】

- 6月21日(火) 食中毒予防勉強会
- 11月25日(火) 感染症予防について

(4) 防災対策委員会 (計3回開催)

避難訓練1回実施(利用者参加)

避難誘導確認、危険個所等確認、暖房機器確認

【訓練】

- 7月18日(月) 総合避難訓練及び地域自治会長との
災害時の協力体制会議
- 12月14日(水) 地震想定避難訓練

(5) サービス改善委員会 (計3回開催)

日常の業務見直し改善、ヒリハット報告に基づいた再発防止対策

【施設内研修】

7月22日(金) 入浴介助中の事故と起こさないためのポイント
について

10月25日(火) 送迎中の急変時の対応について

(6) 給食委員会 (計2回開催)

利用者の摂取状況や嗜好調査等の確認や見直し

(7) 広報委員会 (計3回開催)

法人広報誌を編集し発行する。

14 介護サービス情報の公表 令和4年11月8日

15 ボランティア受け入れ状況 (年間受け入れ回数 1組)

名 称 (敬称略)	主な内容
新波保育所	園児よりクリスマスカード寄贈

花の家訪問介護事業所（第一号訪問介護）

【総括】

訪問介護事業は「長年暮らし続けた地域で老後を」という願いを受けて、各家庭を訪問して身体介護や生活援助を行い在宅での暮らしを支援している。

令和4年度の特徴としては、毎月の利用者人数の平均は38人。その内、要介護者は30人と昨年と同じくらいだった。要支援者は年度当初10人だったのが3月では6人と減少。この理由としては、要支援者の区分変更や更新時に要介護となり、その後の新規利用者がいないことにある。

訪問時間実績は、月平均の時間が昨年度より40時間ほども減少。この理由としては、身体介護で毎日2回訪問していた方が自宅から離れたことである。毎日の訪問は経営的に大きなプラスではあるが、逆に一人抜けるとその回復に戻るまでしばらくの時間を要する。

新型コロナウイルス感染予防として、訪問前後の際にはマスク着用やうがい、手洗い、予防衣のこまめな交換に努め、自分が感染しない、ウイルスを持ち込まないことに徹し感染はなかった、引き続きの対策を図る。

事業の基本としては、ご利用者それぞれの状況把握を行い、個別援助計画を基に援助し、毎日の反省と評価や検討を重ね、ヘルパー全員がその解決策を話し合ってきた。常に相談し合う事はそれぞれの自己点検になり、他のヘルパーとの相違点に気づき、援助のすり合わせするという、大事な時間を作ってきた。

ヘルパー援助内容は、認知症の方への対応、入浴介助の安全対策、調理の腕、掃除の手際など幅広い援助技術力求められ、研修の重要性が挙げられている。ヘルパーに新人が入ってくれたことで、ヘルパー全体がこれまでのことを継承したり、確認したりする良い機会を作っている。

これからも様々な希望に沿った良い対応ができ、心の通い合う温かなヘルパーを目指していく。

1 介護度別利用者数（人） 平均年齢 83.0歳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.41
要介護3	4	4	4	4	4	4	5	3	3	2	1	2	3.33
要介護2	11	12	12	11	11	10	11	9	9	12	15	14	11.41
要介護1	13	13	14	16	16	15	17	17	18	15	14	14	15.16
要支援1・2	10	10	8	7	8	8	8	7	7	7	7	6	7.16
計	39	40	39	39	40	37	40	36	37	36	37	36	38.0

2 家族構成別利用者数（人）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
独居世帯	21	22	23	22	23	20	21	21	21	20	21	24	21.5
夫婦世帯	6	6	5	6	6	6	5	4	5	5	4	3	5.1
家族あり	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	9	11.2
計	39	40	39	39	40	37	40	36	37	36	37	36	38.0

3 介護度別 訪問時間（単位：時間）

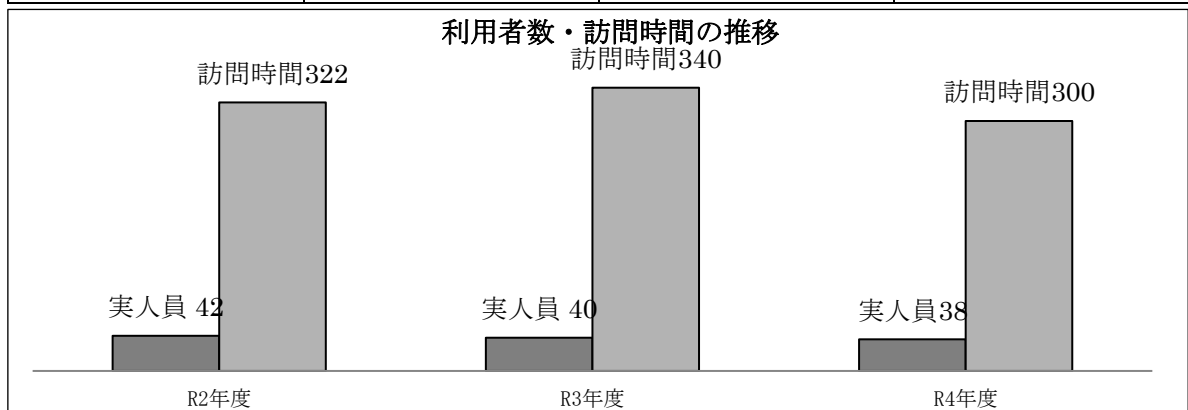
月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	19:46	32:38	32:09	31:09	4:27	0	0	0	0	0	0	0	10:00
要介護3	31:00	28:00	29:00	28:00	35:00	37:00	33:00	26:00	20:00	23:30	26:00	32:00	28:33
要介護2	126:14	125:31	122:31	116:01	93:01	87:03	84:33	72:32	75:02	111:06	104:09	111:36	102:26
要介護1	92:10	94:20	96:20	109:10	106:50	106:10	121:20	129:10	145:30	95:00	95:40	101:20	107:45
小計	209:10	280:29	280:00	284:20	239:27	230:13	238:53	227:42	240:42	256:06	247:09	267:56	255:13
支援 1・2	56:05	48:05	47:10	42:20	40:25	43:05	46:20	41:55	47:20	46:25	39:40	45:00	45:19
計	325:15	328:34	327:10	326:40	279:52	273:18	285:13	269:37	288:02	302:31	286:49	312:56	300:29

4 活動区分別訪問時間（単位：時間）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
身体 介護	56:37	63:59	60:01	52:31	52:48	47:51	42:21	32:22	30:51	29:56	25:56	28:56	43:40
身体 生活	93:35	99:21	100:52	106:51	72:29	67:26	77:25	69:55	85:51	92:21	83:52	83:22	87:21
生活 援助	118:58	117:09	119:07	117:58	114:10	114:56	119:07	125:25	123:50	133:49	137:51	149:38	124:19
総合 事業	56:05	48:05	47:10	42:20	40:25	43:05	46:20	41:55	47:20	46:25	39:40	45:00	45:19

5 利用者数推移（人）と訪問時間の推移（年間平均時間）

年度	R2年度	R3年度	R4年度
人数	42	40	38
時間数	322	340	300



6 職員会議、事業所内研修会

4月	・倫理及び法令遵守 ・苦情報告、解決に向けて ・排泄介助方法
5月	・訪問介護員の接遇 ・介護予防サービスの対応・援助の仕方 ・洗濯、掃除など援助方法
6月	・事故発生予防、再発予防について ・事故発生等、緊急時の対応 ・安全な入浴介助方法 ・糖尿病の調理
7月	・感染症・食中毒の予防及びまん延の防止 ・管理者、責任者、訪問介護員役割 ・飲み込み、むせない食べさせ方の研修
8月	・現任研修 認知症対応他 ・サービス提供責任者不在の緊急時対応 ・介護マニュアルの見直し ・車椅子など移動の介助方法
9月	・自己評価の検討会 ・ヘルパーが訪問出来なかった時の対応 ・従業員法令遵守
10月	・経営改善（利用者の意向、満足度検討） ・事業所の改善課題について
11月	・サービスの質についての自己評価 ・高齢者の食事づくり
12月	・従業者からの相談、意見、苦情対応 ・プライバシー保護
1月	・現任研修 ・教育計画
2月	・介護マニュアルの見直し ・認知症対応
3月	・介護計画書、アセスメント（担当確認）・事業者全体のサービス内容を検討

7 実習受入

日本赤十字秋田短期大学 介護学科実習生 1名

8 その他

介護サービス情報の公表

令和4年11月15日

花の家居宅介護支援事業所

【総括】

令和4年度も新型コロナウイルスの拡大により、ご利用者やご利用者家族の感染、サービス提供事業所のクラスターもあった。そうした中で利用者に不都合がないように代替えのサービスを検討。各事業所と連携を取りながら支援した年であった。

要介護者のケアプラン作成数では月平均147.7件で目標としていた150件には届くことが出来なかったが、要支援の作成数は111件と昨年より50件増え2倍近い件数を支援することが出来た。要介護認定利用者が更新で要支援になってもそのまま当居宅での支援を希望してくれた事や、夫婦の一人が利用していたことにより、夫婦で同じケアマネジャーを希望し契約できたことがあげられる。

この一年で新規利用者件数では昨年より13件少ない43件であった。新規件数が少ないにも関わらず、要介護者の総件数は1,773件で、昨年度より12件多くなった。ご利用者が在宅サービスを継続利用できていると考える。施設への入所が18件と昨年より12件少なかったこともある。また、亡くなられた方は昨年と同じ16人だった。

コロナ禍で病院は早い時期から退院後の生活に向け調整を行う傾向がみられた。新規と同様に退院後に向けて支援を行っている中で、状態変化から療養型病棟へ転院となり、利用に繋がらないケースも度々あった。

今後も新型コロナウイルスについて細心の注意を行い、感染防止対策に努め、介護サービスの最新情報を得ながら、利用者、家族が安心してサービスを利用出来るように、情報提供を行い支援していきたい。

【重点事項】

(1) 居宅サービス計画の作成

ご利用者及びご家族の意向を尊重し、サービス計画の作成を行った。サービス担当者会議の開催は介護認定の新規及び更新時又はサービスの変更時等に都度行った。

更新時のサービス担当者会議については、ご本人、ご家族がコロナ感染拡大期に開催を希望せず照会文書で対応することもあった。

(2) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の受託

包括支援センターから業務受託を受け、介護予防、生活支援サービス事業等の利用について介護予防サービス支援計画の作成に努めた。

(3) 関係機関との連携の強化

ご利用者及びご家族に対して保険、医療、福祉についての情報提供を行う。医療連携では利用者の体調相談で、本人の通院に同行、ケアマネがクリニックに訪問や書面でも相談を行った。入退院時の情報連携も行っている。新型コロナウイルスの感染状況で病院の対応も都度変更はあったが支障なく対応することは出来た。事業所等とも情報共有しサービス提供のため連絡調整を行った。

(4) 職場研修の充実

各介護支援専門員の目標に沿った研修に参加。外部研修の多くはオンライン形式となったが、時には参集型研修も有った。参集型でも感染予防対策を取っており、双方に参加することが出来た。事業所内研修は毎月の職員会議で研修計画に沿って実施することが出来た。

1 年間計画作成数

	年間合計	前年比	備考
延べ利用者数（要介護）	1,773 人	12 人減	月平均 147.7 件
延べ利用者数（要支援）	111 人	50 人増	月平均 9.3 件

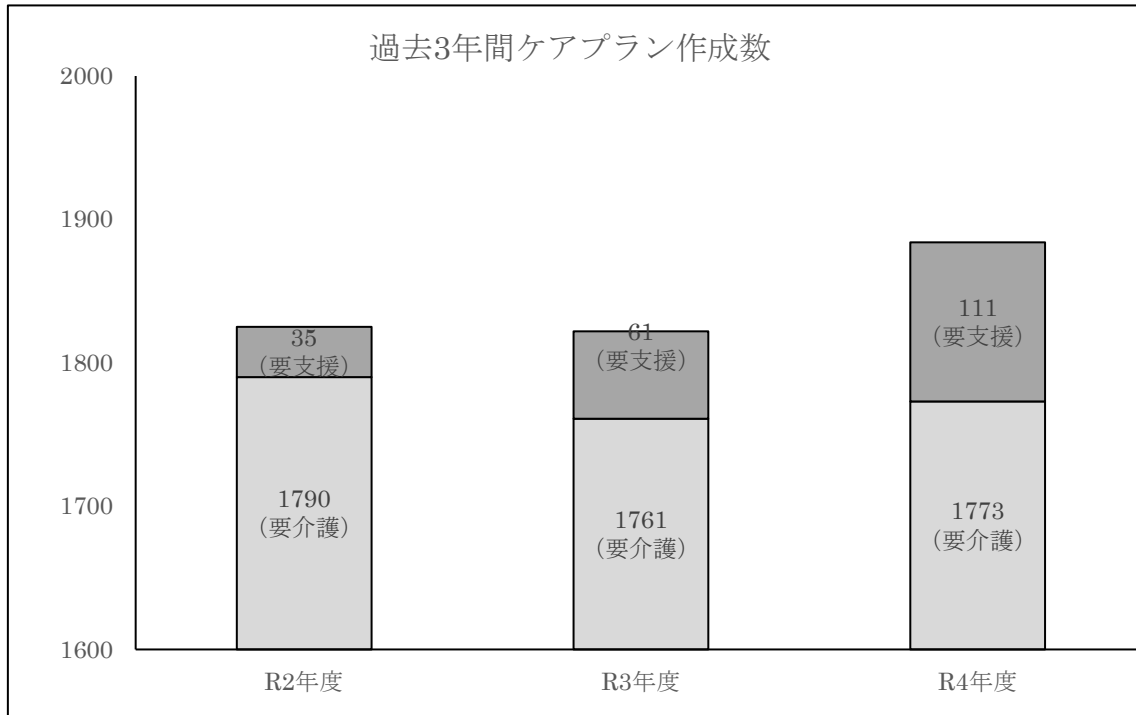
2 要介護度別利用状況

要介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用人数 (延べ)	60	51	781	543	266	155	28	1,884
比率 (%)	3%	3%	41%	29%	14%	8%	2%	

3 年間計画作成数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2 年度	162 (10)	151 (0)	159 (0)	148 (2)	153 (1)	148 (1)	151 (2)	150 (2)	151 (4)	153 (3)	147 (5)	153 (5)	1825 (35)
R3 年度	155 (4)	152 (4)	149 (4)	146 (4)	150 (5)	156 (5)	151 (6)	154 (7)	156 (4)	153 (6)	155 (6)	145 (6)	1822 (61)
R4 年度	151 (6)	155 (8)	149 (8)	154 (8)	163 (9)	172 (11)	165 (10)	164 (12)	157 (10)	157 (9)	151 (10)	146 (10)	1884 (111)

*総作成数うち（介護予防数）



4 会議、研修等

- (1) 職員会議 (毎月1回開催)
 - ・請求実績、業務実績、連絡確認事項、ケース検討、研修復命、事業内研修
- (2) 利用者に関する検討及び伝達 (毎朝開催)
 - ・利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達
- (3) サービス担当者会議 (担当者が随時開催)
 - ・年間実績 216件
 - ・サービス事業所との連携、サービス内容の確認と検討
- (4) 委員会 (随時開催)
 - ・他事業所と連携しながら活動
- (5) 研修
 - ・事業所内研修～施設外研修復命報告等 17回
 - ・事業所研修 ～主任介護支援専門員更新研修 他 10回

5 その他

介護サービス情報の公表

令和4年11月14日

雄和地域包括支援センター緑水苑

【総括】

令和4年度は感染症の対策を講じながら研修会や勉強会を開催するように努めた。介護予防のための活動、介護支援専門員や福祉職のスキルアップのための研修、勉強会、他職種連携、顔の見える関係を構築する会議等もほぼ計画通りに行っている。個別訪問も従来通り行った。

雄和地域包括支援センターは今後も与えられた業務を丁寧に行い、職員自身の援助技術や幅広い知識を身に付け、総合的な判断力を養い、高齢者や地域の方が住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるように役割を果たしていく。

総合相談支援業務

相談件数は349件で昨年の537件から188件減っている。新規職員採用、退職等職員の欠員期間の影響も考えられるが、在職する職員で対応し相談者を待たせることや対応ができない等相談者の方に迷惑をかけることはなかったと思っている。相談件数は減っているが1件の相談に関わる時間は増えている（受診同行等）相談内容は介護保険、認知症のこと（症状、医療）の相談は多いが特に70代の方の認知症についての相談が多い。

介護予防ケアマネジメント業務

介護予防として、はつらつくらぶ、自主サロンに対し出前講座を行う。

介護予防プラン作成は（要支援1、2）今年度864件（委託を含む）で昨年より92件減っている。介護認定を受けてもサービスを使わず、はつらつくらぶへ参加又は介護サービスと併用されている方もいる。また、申請後あるいは区分変更後に要介護認定を受ける方が多い。

令和4年度雄和地域包括支援センターから花の家居宅介護支援事業所に引き継ぎした方は38名で他事業所を含めると40名を超えている

権利擁護業務

権利擁護について今年度も研修会を開催した。また、一般の方や福祉職を対象に南圏域包括社会福祉士が企画した「シルバーセーフティ研修会」を警察の方とも連携し各包括の3地域で開催した。この企画は次年度も継続する。

包括的・継続的マネジメント業務

年度当初に年間計画書を圏域の居宅介護支援事業所に配布し、勉強会や民生委員との意見交換会などおこなった。ケアマネジャーや包括の関りだけでは見えないものや気づきにつながる機会になっている。

そのほか多職種連携の地域ケアネットワーク会議や南圏域包括主催の南部ケアマネ連絡会を行っている。また、秋田東警察署管内さがしてネットワーク会議や声かけ通報訓練も行い、社会資源情報の収集や互いの関係作り、情報共有、顔の見える関係作りを行なっている

【食の自立支援事業】

独居、高齢者世帯に向けた「食の自立支援」事業（配食）は現在（R5/4）14名の方が利用されている。令和4年度の延配食数は1,386食（R3/1,366食）、1回の配達は7食～12食と曜日により異なる。週1回利用者は1名、週2回以上で週5日の利用者が6名。利用者の安否確認や調理負担（介護負担）の軽減に役立っている。

【郊外型はつらつくらぶ】

今年度も6ヶ所の会場で月8回開催した。46名（R3/46名）の方が運動や脳トレなど様々なプログラムに取り組んだ。

参加者の高齢化や要介護認定を受けてデイサービスに行くなど参加者が増えない悩みもあるが継続していることで新規の利用者の方が参加している会場もある。「知り合いから誘われて参加する」が利用継続につながっている。また、バス停まで歩けず、はつらつくらぶの参加をあきらめている方の支援も行っているが介護認定など家族支援が必要なこともありすぐには繋がらないケースもある。

【高齢者生活支援体制整備事業】

生活支援コーディネーターを中心に活動してきた事業も7年が経過した。居場所や仲間づくりを企画してきた。今年度は住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる取り組みとして「雄和ボランティアの会」を発足し活動を開始した。担い手の方は18名で利用者の方は13名で順調に活動をしている。

男性の居場所と考えて企画していた「健康麻雀」「酒を嗜む会」の開催はなかったが次年度は感染症対策を講じ開催したいと考えている。

【認知症地域支援・ケア向上事業】

認知症に関する相談窓口として様々な研修等に参加し資質の向上に努めた。地域住民に対し認知症に関する知識の普及、予防や啓発活動にも取り組んだ。

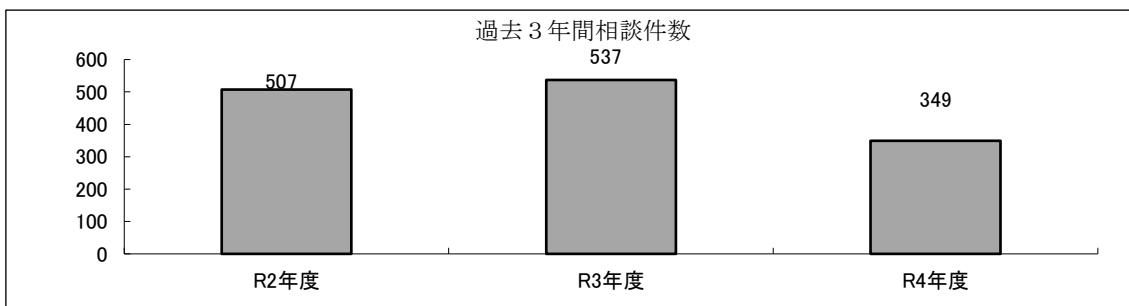
月	活動内容
6月	・キャラバンメイト養成講座、グループワーク支援 ・コグニサイズ実践者研修受講
7月	・認知症地域支援推進員初任者研修受講
8月～11月	・頭と体の健康教室（コグニサイズ）開催 年間8回開催、参加者6名
9月	・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーターの活動パネル展示 ・市民向け認知症サポーター養成講座開催

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症VR体験会開催 ・市民向け認知症サポーターステップアップ講座開催
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症出前講座開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等さがしてネットワーク声かけ通報模擬訓練開催 ・みんなでささえあうまちづくり研修会活動発表
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症出前講座開催 ・チームオレンジコーディネーター研修受講
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラバンメイト向けステップアップ講座活動発表
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症出前講座開催 ・みんなでささえあうまちづくり報告会活動発表 ・認知症施策検討委員会出席

1 総合相談支援

(1) 相談件数

	R2年度	R3年度	R4年度
合計	507	537	349



2 権利擁護

	R2年度	R3年度	R4年度
成年後見制度利用	0	0	0
消費者被害	0	0	0
困難事例	5	2	0
その他	0	0	0
合計	2	0	0

(虐待又は虐待の疑い)

- ・令和04年度 新規 0件 継続 0件
- ・令和03年度 新規 0件 継続 0件

3 地域包括ケア会議

	R2 年度	R3 年度	R4 年度
開催回数	4	2	4

個別ケア会議 2回

地域ケアネットワーク会議 2回

4 高齢者福祉サービス等申請代行、地域連携・他職種連携など

	R2 年度	R3 年度	R4 年度
①高齢者福祉サービス等申請代行	109	137	111
②地域連携・他職種連携など	13	16	17

①緊急通報システム、食の自立支援、介護申請ほか ②民生委員など会合ほか

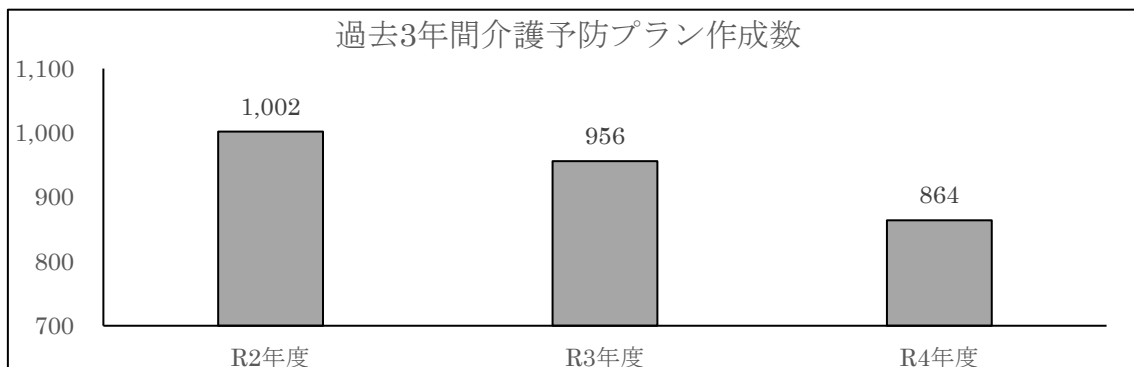
(1) 研修会、地域連携など内容

- ・ 3 職種情報交換会、包括/在介連絡協議会研修会、他各種研修会(オンライン有)
- ・ 自主活動グループ講座・はつらつくらぶ出前講座・老人クラブ出前講座
- ・ 雄和地区社協への協力(生き活きの集い:独居者対象事業)
- ・ 民生児童委員定例会(年7回参加)
- ・ 福祉懇談会
- ・ グループホーム運営推進会議(つばき苑2回/年、赤とんぼ0回/年)
- ・ 小規模多機能型施設運営推進会議(えがお0回/年)
- ・ 地域密着型デイサービス運営推進会議*ゆうわの里(年0回)
- ・ 河辺雄和担当圏域介護支援専門員勉強会(サービス事業所研修会・年1回)

5 介護予防プラン作成件数(要支援1、要支援2)

	R2 年度	R3 年度	R4 年度
①プラン作成(延)	1,002	956	864
②プラン作成月平均	83.5	79.6	72.0
③プラン委託月平均	15.3	18.1	25.3
③総合事業	521	437	329

*R3年度 委託事業所は10事業所



6 郊外型はつらつクラブ（月8回開催・6ヶ所）

- ・利用者実人数 46名（内男性5名 女性41名）
- ・令和4年度延べ利用人数 921名（前年度 911名）

7 食の自立支援（配食サービス・週3回まで）

*利用者負担 480円 秋田市委託料 210円（週4回から自費 700円）

（1）令和4年度月別配食サービス実績

- ・利用人数は9人～15人の間で変動有り。自費利用も含め複数回利用の方が増えている。

（2）過去3年間配食サービス実績（自費利用を除く）

	R2年度	R3年度	R4年度
実人数	147	144	153
延食数	1,344	1,366	1,386

8 高齢者生活体制整備事業（生活支援コーディネーター）

（1）アウトリーチ・ネットワークの構築

（高齢者の居場所や見守り体制の構築）

①オープンガーデン

- ・花壇等への植付け、草取り、交流会、花壇見学会、花の撤去作業、オープンガーデン反省会等 延参加者 22名（R3年度 42名）

②ウォーキング

- ・月1回 5回実施 延参加者 57名（R3年度 59名）

③カラオケサロン

- ・4月～3月 月1回開催 第4水曜日 延参加者 42名（R3年度 52名）

④健康麻雀 開催なし（R2年度 0回開催0名）

⑤ペタンク 第1、第3月曜日 延参加者 48名（R3年度 52名）

⑥協議体委員会（雄和地区各種団体から構成、計12名）

- ・年4回開催 関係機関とのネットワークを図る
- ・ささえあいボランティア活動会議 3回開催
- ・ボランティア活動説明会 17名参加

（2）地域資源の把握や創出（地域住民により地元資源を探り出す）

①ワークショップ

- ・開催なし

②マップ作り

- ・感染症予防のため中止

③男性の交流の場

- ・酒を嗜む会 R2年度より感染症予防のため中止（R1年度 3回 30名）

④陶芸教室（いやしろち窯）

- ・1作品4回実施 延参加者 48名（R3年度 48名）

⑤映画サロン「銀幕のしらべ」

- ・11回実施 延参加者 377名 (R3年度 7回 219名)
- ・銀幕カフェ 中止 (令和2年度から中止。R1年度 60名)

(3) 地域づくりの意識の統一 (地域が一体になり意識の統一を図る)

①PR用広報誌発行

- ・ささえあいだより 年2回発行 (12月、3月) 雄和地区全戸配布

(4) その他

【他圏域地域包括支援センターとの情報交換会及び研修会等】

- ・生活支援コーディネーター情報交換会
- ・秋田市ささえあい活動推進ネットワーク会議
- ・南、西圏域コーディネーター意見交換会
- ・生活支援コーディネーター研修会